

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和07年04月18日

計画の名称	青梅市における快適な住環境の実現（防災・安全）（第2期）															
計画の期間	平成31年度 ～ 令和05年度（5年間）												重点配分対象の該当			
交付対象	青梅市															
計画の目標	下水道施設の耐震化や老朽化対策を行い、安全・安心で快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。															
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		891	A	891	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H31当初)	(H33末)	(H35末)
1	管路施設の点検・調査を実施し、管きよの破損等による道路陥没事故を未然に防止する。			
	管きよの点検・調査を75km実施する。	0%	47%	100%
	実施済み延長（km）/計画延長（km）			
2	汚水中継ポンプ場の計画的な耐震化工事を実施し、耐震化実施済み箇所数を10%（H31当初）から20%（H35末）に向上させる。			
	汚水中継ポンプ場の耐震化工事2箇所を実施する。	10%	10%	20%
	耐震化実施済み箇所数（箇所）/汚水中継ポンプ場の総数（箇所）			
3	汚水中継ポンプ場設備の計画的な改築工事を実施し、改築実施済み箇所数を10%（H31当初）から20%（H35末）に向上させる。			
	汚水中継ポンプ場の設備改築工事2箇所を実施する。	10%	10%	20%
	改築実施済み箇所数（箇所）/汚水中継ポンプ場の総数（箇所）			
4	マンホールポンプ設備の計画的な改築工事を実施し、改築費の平準化を図る。			
	マンホールポンプ設備の改築工事を22箇所実施する。	0%	50%	100%
	改築箇所数（箇所）/計画箇所数（箇所）			
5	次世代支援事業にもとづく水環境創造事業として行う雨水浸透施設等の設置助成件数を0%（R4当初）から100%（R5末）に向上させる。			
	計画期間内に雨水浸透施設等38箇所の設置に対し補助を行う。	0%	0%	100%
	設置箇所数（箇所）/計画設置箇所数（箇所）			

備考等	個別施設計画を含む	☐	国土強靱化を含む	☐	定住自立圏を含む	☐	連携中枢都市圏を含む	☐	流域水循環計画を含む	☐	地域再生計画を含む	☐

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	管渠（ 污水）	改築	管路施設耐震化事業	総合地震対策計画にもとづく 水管橋の耐震診断	青梅市				■	■	9		未策定
	A07-002	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	ポンプ 場	改築	汚水中継ポンプ場耐震化 事業	総合地震対策計画にもとづく 汚水中継ポンプ場の耐震診断 、耐震設計、耐震補強工事	青梅市	■	■	■	■	■	139		策定済
	A07-003	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	管渠（ 污水）	改築	管路施設点検・調査、計 画策定、設計、工事	ストックマネジメント計画に もとづく管路施設の点検・調 査、計画策定、設計、工事	青梅市		■	■	■	■	100		策定済
	A07-004	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	ポンプ 場	改築	汚水中継ポンプ場、マン ホールポンプ設備改築事 業	ストックマネジメント計画に もとづく汚水中継ポンプ場お よびマンホールポンプ設備の 点検・調査、計画策定、設計 、工事	青梅市		■	■	■	■	635		策定済
	A07-005	下水道	一般	青梅市	直接	青梅市	－	－	雨水浸透施設等設置補助 事業	雨水浸透施設等の設置者に対 し補助金を交付する	青梅市				■	■	8		－

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
											小計						891			
											合計						891			

事後評価	
○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 青梅市下水道事業運営検討委員会において実施	事後評価の実施時期 令和7年3月
	公表の方法 青梅市ホームページに掲載
○事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・管路施設点検・調査 管路のスクリーニング調査を計画どおり実施し、異常が確認された箇所については詳細テレビカメラ調査を実施した。この結果について緊急性のあるものは速やかに対策を講じ道路陥没事故等の防止を図るとともに、その他の箇所については、修繕・改築計画としてとりまとめ計画的に対応することとした。 ・汚水中継ポンプ場耐震化事業 耐震化予定の2箇所のポンプ場のうち1箇所については新型コロナウイルス感染予防対策の影響により1年間のスケジュールの遅れが生じ令和6年度に工事が完了した。 ・汚水中継ポンプ場改築事業 ポンプ場耐震化と同様に1箇所の工事完了が令和6年度となった。 ・マンホールポンプの計画的な改築 予算の平準化を図るため計画した22箇所の改築数に対して19箇所のポンプの取り換えし、おおむね計画どおり改築を完了した。なお3箇所については令和6年度に完了した。 ・雨水浸透施設等設置補助事業 令和4、5年の2年間で38件の設置計画に対して実績件数は53件となり目標を超えた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	総合地震対策計画にもとづき、主要な幹線である多摩川南岸幹線の凱旋橋水管橋の耐震診断を行い、対策が必要との判定結果を得た。このため次期整備計画に耐震設計・工事を位置づけ耐震化事業を行う。
○特記事項（今後の方針等）	
次の方針に従い、膨大な下水道施設を適切に維持管理し、安全・安心で快適な暮らしの実現を図っていく。 ①下水管路の維持管理（点検・調査・修繕・改築） 予防保全型の維持管理や計画的な修繕・改築を行うことで、下水道の機能保全や道路陥没事故の未然防止、既存施設の長寿命化等を図る。 ②下水道施設の耐震化 防災上重要な施設の排水系統を優先して耐震化を行うとともに、老朽化対策と合わせた耐震化を実施する。 ③雨水浸透施設等設置補助事業 豪雨対策の一つとして重要な事業であることから、今後も補助制度の継続・拡充を図り、近年の異常気象の激甚化・頻発化から市民の生命を守る本事業を推進していく。	

○目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値／実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	管きよの点検・調査実施率		調査済延長（km）／ 計画延長（km）
	最 終 目標値	100%	実施数量の端数積み上げにより増加となった。
	最 終 実績値	101%	
2	ポンプ場の耐震化率		耐震化済ポンプ場数（箇所）／ ポンプ場総数（箇所）
	最 終 目標値	20%	工事实施スケジュールを見直したため1ポンプ場の工事が令和6年度となった。
	最 終 実績値	15%	
3	ポンプ場設備の改築工事実施率		改築工事済ポンプ場数（箇所）／ ポンプ場総数（箇所）
	最 終 目標値	20%	工事实施スケジュールを見直したため1ポンプ場の工事が令和6年度となった。
	最 終 実績値	15%	
4	マンホールポンプ設備の改築工事実施率		改築工事実施箇所数 / 計画箇所数
	最 終 目標値	100%	予算の都合でマンホールポンプ3箇所については、令和6年度に延期した。
	最 終 実績値	86%	
5	雨水浸透施設等設置補助実施率		設置補助実施箇所数 / 計画箇所数
	最 終 目標値	100%	設置要望設置箇所数が計画箇所数を上回ったため実施箇所数が増加した。
	最 終 実績値	139%	